

津別町「まちなか再生事業」大通・幸町地区『コミュニティ施設整備事業』大通棟建設事業基本設計概要版

■設計のプロセス

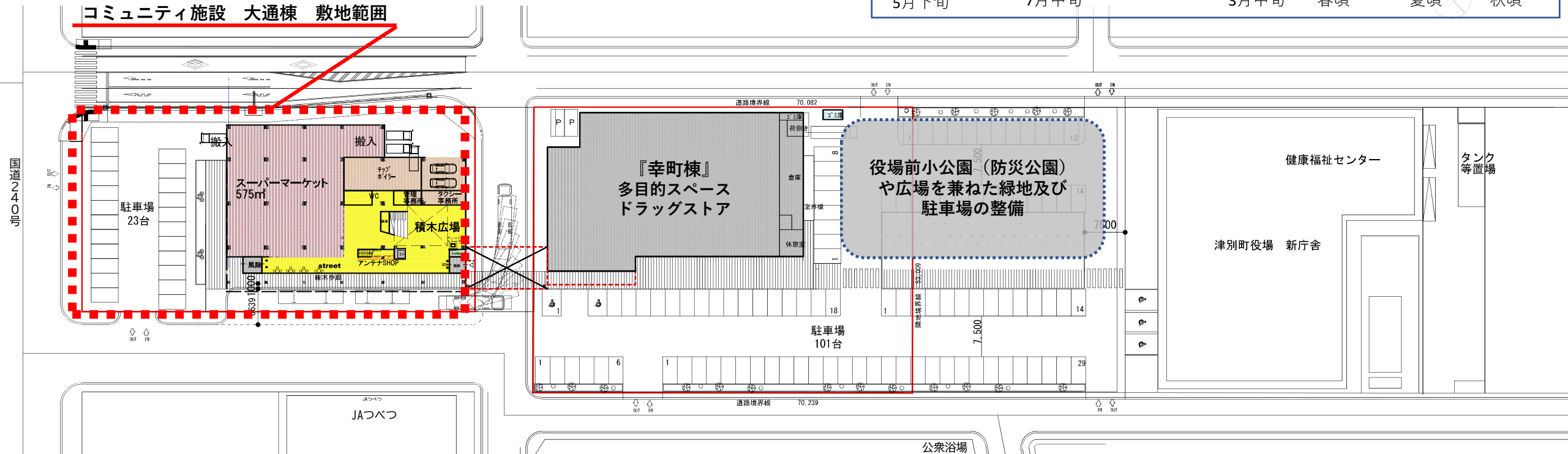
『大通棟』では、図書館、交通拠点、スーパーマーケットの機能を整備します。市街地総合再生基本計画推進協議会で積み重ねられた議論や施設運営に関わる事業者の皆さんと協議を反映し、設計を取りまとめました。これから来年3月の竣工へ向けて、運営のアイデア等を反映させながらより良い空間となるように整備を進めます。

■基本情報

- ・工事名称 大通幸町地区
コミュニティ施設整備事業
『大通棟』新築工事
- ・所在地 津別町字大通31,32 幸町29-1他
- ・敷地面積 2,786.85㎡
- ・構造規模 鉄骨造 地上2階建
- ・建築面積 1,299.65㎡
- ・延床面積 2,097.73㎡

■スケジュール（予定）

- ・解体工事(1期) 2022年5月下旬～7月10日
- ・大通棟新築工事 2022年7月中旬～2023年3月中旬
- ・解体工事(2期) 2023年春
- ・開業時期 2023年春



■配置計画の考え方

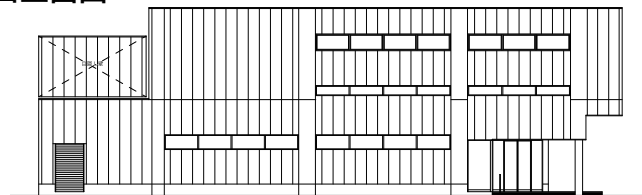
- ・交通拠点のバス乗り場の機能は、バス会社との協議においてバスの動線及び待合からバス乗り場の視認性を検討した結果、JAつべつ様側に配置することになりました。
- ・国道から庁舎までの間に配置される様々な機能や活動をつなぐように、Streetを設け、今後整備される予定のドラッグストアと今回整備するスーパーマーケットの買い回り動線として繋がるように整備します。
- ・市街地総合再生基本計画推進協議会の議論では、アンテナショップや地場製品の販売、若手生産者の新たな取り組みの場など、1階の積木広場での運用のアイデアがありました。これから運営の検討と連動しながら、使いやすい広場となるようにデザインや設備の詳細を施工へ反映します。

■立面図及び外観パース

南立面図



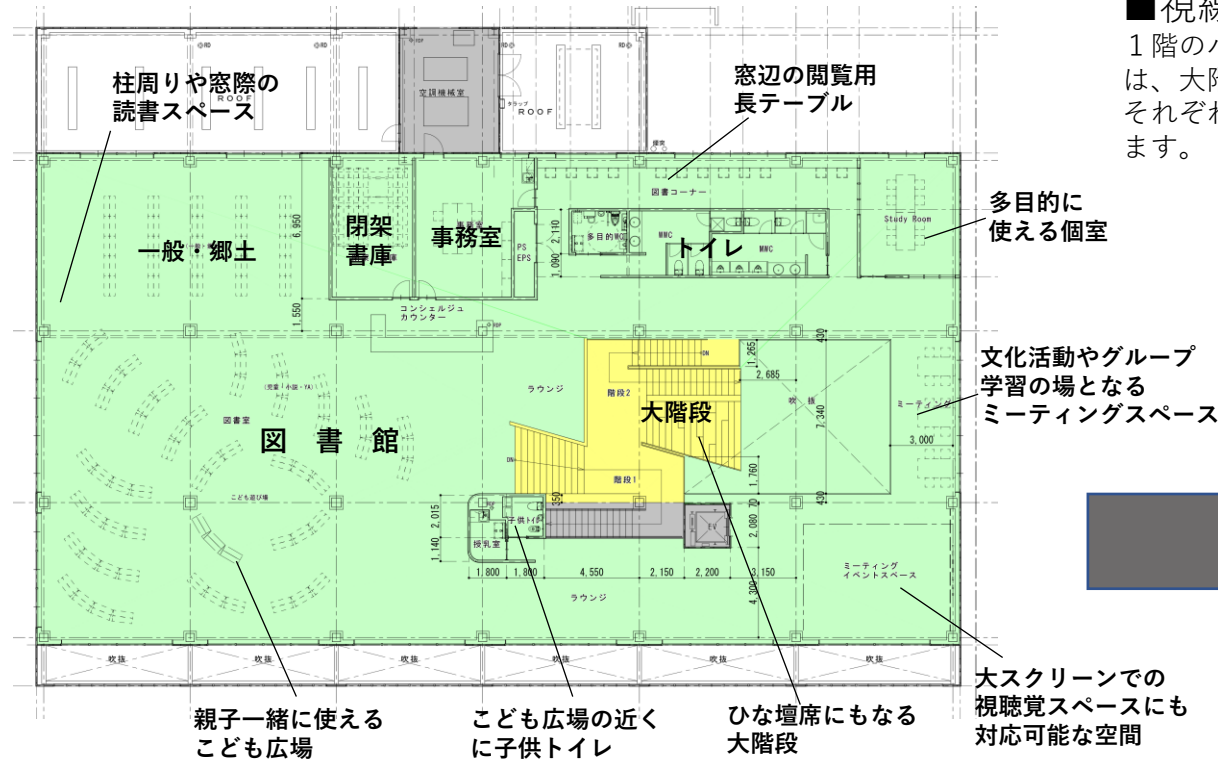
西立面図



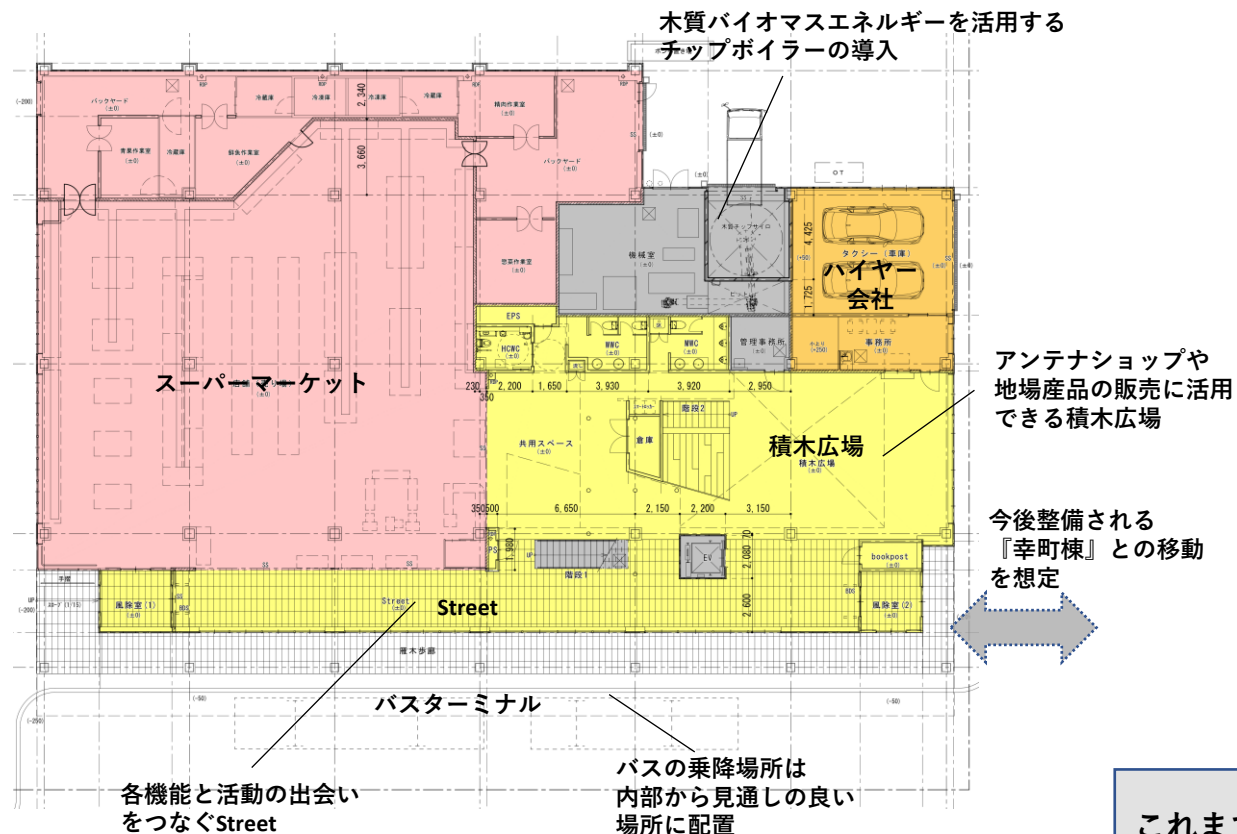
バス乗り場を配置するJAつべつ様側は、雨雪にかからずに乗降するための庇（ひさし）が必要になります。この納まりのために生まれる二重の空間を利用し、行燈（あんどん）のように街を柔らかく照らすデザインとします。



「夜間の外観イメージ」
建物から灯りが漏れ、辺りを柔らかく照らす。



2階平面図



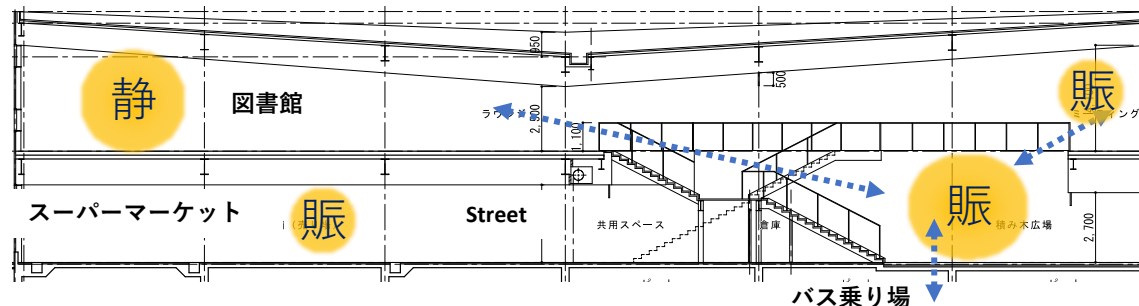
1階平面図

■視線でつなぐ

1階のバス乗り場や積木広場と2階の図書館は、大階段の吹抜けを通して視線で繋がり、それぞれの空間の活動を垣間見ることが出来ます。

■賑わいと静けさをつなぐ

スーパーマーケットやStreet、積木広場の賑わいから2階のミーティングスペースや子ども広場、図書館奥の静かな空間までをゆるやかに回遊できる階層とします。



断面図

■図書館

利用する人が、思い思いの場所で自由な時間を過ごす開かれた図書館となるように、『出会い・集い・人がつながる』空間を埋め込みました。

■積木広場

日常使いの空間として、スーパーマーケットやアンテナショップで購入したおやつやお惣菜を親子で食べれるような空間が欲しいという声を実現できる広場です。地場産品のイベントもできるように設備を想定します。

■バス乗り場

積木広場やStreetが待合となることを想定し、到着するバスが見えるような平面計画としました。また、これから検討する家具設置とすり合わせながら今後詳細設計を行います。

■スーパーマーケット

購入したお惣菜を親子で飲食したい、買い回りを楽しみたい、という町民の声に応えられる空間づくりを目指し、スーパーマーケットはStreetや共用スペースに面して開かれた空間とすることにより、共用部分との回遊性や賑わいの一体性を目指します。



「図書館の部分と1階の積木広場を視線でつなぐ大階段」



「街とスーパーマーケットと図書館を縦横につなぐ積木広場」

これまでの議論経過や配布資料、Q&Aについては下記（町HP内）に掲載しています。
【津別町市街地総合再生基本計画】

https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/20machizukuri/sousei/tsubetsu_shigaichi_sougousaisei.html

